

下郷町青少年育成 町民会議だより

No.134
25.10.15

発行 下郷町青少年育成町民会議(町教育委員会事務局内) TEL0241-69-1168 FAX0241-69-1167

町青少年の主張発表・青少年健全育成作品コンクール表彰式

6月28日(金)第29回下郷町青少年の主張発表及び青少年健全育成作品コンクール表彰式を下郷ふれあいセンターにおいて開催しました。同主張発表には町内小学校4年生以上の児童及び中学生約380名が参加しました。

各学校を代表する12名が、堂々と主張発表を行い、それぞれ優秀賞に輝きました。

12名の主張発表を聞くことにより、青少年が普段何を考え行動しているかを理解する非常に良い機会となりました。

(発表内容については、中学生の部をこの紙面にて掲載し、小学生の部は次号での掲載となります。)

また、作品コンクール(ポスターの部・標語の部)においても、素晴らしい作品が多数入賞し、主張発表終了後に、入賞者全員に賞状と盾が授与されました。

第29回下郷町青少年の主張発表者

No	氏名	学校名	学年	題名
1	渡部 愛佳	榎原	5年	尾瀬で学んだあいさつの大切さ
2	佐藤 愛音	旭田	5年	友だちについて考えたこと
3	佐藤 幸人	江川	5年	読書っていいな
4	稲本 椰子	榎原	6年	ふるさとを愛する
5	渡部 美憂	旭田	6年	チームワーク&スマイル
6	五十嵐 瑠奈	江川	6年	私の自慢のひいじいちゃん

〈小学生の部〉

No	氏名	学年	題名
1	佐藤 紅羽	1年	「今」がんばることの意味
2	弓田 愛実	1年	入学して三ヶ月がたって
3	室井 葵	2年	この町との出会い
4	渡部 裕太郎	2年	人として
5	鈴木 木	3年	部長として
6	星 香	3年	努力

〈中学生の部〉



青少年健全育成世代間交流

グラウンド・ゴルフ大会

7月13日(土)青少年健全育成世代間交流グラウンド・ゴルフ大会を大川ふるさと公園多目的広場で開催しました。開会式では弥五島チームの小沼千

○高齢者の部
準優勝 佐藤 一男(刈林B)
3位 五十嵐竹雄(田代B)

空さん(榎原小2年)と小沼絹さん(榎原小5年)が元気に選手宣誓を行いました。大会には14チーム(約93名)が参加し、世代間の交流を深める有意義な大会となりました。

【ホールインワン賞】
佐藤 秀子 一柳 貞夫
児山 正己 五十嵐精一
植村 昭夫

成績は次のとおりです。

【団体の部】

優勝 刈林C
準優勝 弥五島
3位 刈林B

【個人の部】

○小学生の部
優勝 小沼 絹空(弥五島)
準優勝 玉川 陽向(刈林C)
3位 大竹 玖実(刈林A)
○一般の部
優勝 児山 正己(刈林C)



▲優勝チーム(刈林C)

少年の主張福島県大会

優良賞受賞

渡部 裕太郎君(下郷中2年)

※主張作文を5ページに掲載

青少年健全育成作品コンクール入賞者

*ポスター

(小学生の部・6年生)

賞	氏名	内容	学校
最優秀賞 1点	むろい だい き 室井 大輝	ポイ捨ては、 自然をこわす行動です！	旭田
優秀賞 2点	わたなべ たい ご 渡部 泰伍	みんなで守ろう下郷の自然を！	旭田
	わたなべ たい 汰 渡部 汰	大事にしよう家族の絆	旭田
佳作 5点	むろい さくら 室井 桜	みんなの笑顔で人をすくえる！	江川
	こやま ふう が 児山 楓芽	だれかが見ているその行為	檜原
	ほし かな 星 佳那	みんなでやろうボランティア 未来のために 自分のために	檜原
	むろい しょうた 室井 翔太	家族の笑顔が一番大切！	旭田
	わたなべ み ゆ 渡部 美憂	みんな大好き下郷の食材！	旭田

*標語

(小学生の部・5年生)

賞	氏名	内容	学校
最優秀賞 1点	ほし しょうた 星 翔太	ありがとう 感しゃいっぱいの 愛言葉	江川
優秀賞 2点	ゆみ た みらい 弓田 未来	ボランティア ちいきもみんなも 笑顔だね	檜原
	むろい あつみ 室井 彩摘	ありがとう その一言で 笑顔咲く	旭田
佳作 5点	たまかわ 玉川のぞみ	あいさつで 笑顔あふれる 下郷町	江川
	かわしま えみ 川島 詠実	笑顔はね みんなにかけろ まほうだよ	旭田
	わたなべ まなか 渡部 愛佳	あいさつで 町の絆を 深めよう	檜原
	さとう りゅうや 佐藤 竜也	できるんだ 自分の力を 信じよう	旭田
	ゆみ た さわ 弓田 爽	あいさつで 地いきにともる 笑顔の光	檜原

*ポスター

(中学生の部)

賞	氏名	学年	内容
最優秀賞 1点	むろい ねね 室井 寧々	3	お酒とたばこは 20歳になってから
優秀賞 2点	ほし みほ 星 美穂	3	ストップ!! 未成年の喫煙飲酒
	わたなべ みゆ 渡部 美揺	3	家族のきずな大切に
佳作 4点	よこやま めぐみ 横山 恵	2	一人ひとりの愛が 地球平和を救う
	わたなべ なお 渡部 菜緒	2	自分から進んで
	わたなべ のぞみ 渡部 望	3	ふしんな電話に気をつけて
	たまかわ かずま 玉川 和磨	2	中毒の扉

*標語

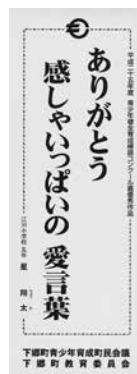
(中学生の部)

賞	氏名	学年	内容
最優秀賞 1点	ほし かな 星 佳奈	1	いじめって やった人こそ 弱い人
優秀賞 2点	おおたけ ちさと 大竹 千里	2	ありがとう 気持ちを伝える 笑顔の言葉
	むろい さやか 室井 彩花	2	思いやり みんなの笑顔が ふえてくよ
佳作 4点	あさぬま あやか 浅沼 彩夏	1	あいさつで まちのみんなと つながろう
	ゆみ た れいな 弓田 玲菜	1	自分から 勇気を出して かわろうよ
	かなめ だいすけ 要 大輔	2	大丈夫 あなたのそばには みんないる
	むろい ゆめか 室井 夢香	3	あいさつで みんなに笑顔を 届けたい

7月27日(土)に大川ふるさと公園で盛大に開催された下郷ふるさと祭り宵夜祭において、補導部会事業の一環として会場内外の巡回補導を実施しました。星浩子補導部長をはじめ、南会津警察署や少年補導委員の方々と合同で、事件・事故の未然防止に努めました。

下郷ふるさと祭り 宵夜祭における巡回補導

江川小学校5年生 星 翔太



下郷中学校1年生 佳奈



旭田小学校6年生 室井大輝



中学生の部

「今」がんばる この意味

下郷中学校

1年

佐藤

紅羽



皆さんは、「学校に行きたくない」なんて思ったことはありませんか。実は、僕はよくあります。理由は、家でゲームをしたり、テレビを見たりしていた方が楽しいのではないかと思うときがあるからです。別に、友達と一緒にいるのがつまらないわけではなく、逆に楽しくて大好きです。でも、学校に行きたくないと思ふときがあります。なぜなら僕には「やりたくないこと」があるからです。例えば勉強。僕は、あまりやる気が出ません。

そんなことを思っ、「学校いやだなあ。」とぼやいていたある日、僕は祖父にこんなことを言われました。
「人生を楽しく生きたいなら、『今』がんばれ。今をがんばれば、大人になってから楽しくなるぞ。」
「今」をがんばるってどういうことだろう？最初はあまり意味がわかりませんでした。最近「仕事」のことを考えてみて、やっと分かるようになりました。

僕たちの中学校には、職業について考える時間があります。ある日の授業では、「好き」という言葉をキーワードにして、自分が将来やってみたい仕事について考えました。また、小学校のとき、インターネットで開いた「十三歳のハローワーク」というページでも、「好き」という言葉を中心にして、職業について書いてありました。つまり、仕事は好きでやるのが一番だということ。大人になったら何になりたう？」
僕はその質問に、迷わず「保育士」と答えます。なぜなら、僕は小さい子どもが好きで、面倒を見てあげたいと思っているからです。でも、どうすれば保

育士になれるのでしょうか。僕は、「十三歳のハローワーク」で保育士について調べてみました。すると、主に二つのことが書いてありました。
一つ目は、人の役に立つのが「好き」であることです。僕は、人の役に立つのは好きな方です。今までも、仕事や手伝いを積極的にやってきました。
二つ目に必要なのは、保育士の資格を取ることです。そのためには、高校を卒業後、保育士の資格が取れる大学や専門学校に進学する必要があります。しかし、それで終わりではありません。採用試験を受け、それに合格して初めて本当の保育士になれるのです。僕は、保育士になるのがそう簡単ではないことを知りました。
保育士の資格が取れる学校に進学するために、僕はまず勉強をがんばる必要があります。あまり力の進まなかった勉強ですが、夢をかなえるためならがんばろうと思え

ます。しかし、勉強だけががんばればいいのか。僕は違うと思います。例えば、日々の部活動を通して、体力や強い精神力が身に付きます。また、まわりの人たちの人間関係を通して、相手を思いやることや協力することの大切さが実感できます。何になるにも、勉強、運動、人間関係、すべての面で努力するのは必要なことだと思います。
つまりこれが、僕が「今」ががんばること。今これらのことを精一杯やっていけば、自分の夢の実現に近付くことができそうです。さらに、これからも努力を続ければ、やがて夢が実現し、僕の人生は楽しいものになるでしょう。祖父が言っていたのは、こういうことではないかと僕は思いました。
自分なりに考えたこの答えを、僕は祖父に伝えたいです。

入学して 三カ月がたって

下郷中学校

1年

弓田

愛実



「中学校ってどんな感じかな？部活は、きっと楽しいだろうな。」
こんな気持ちで中学校に入学した私でしたが、実際に生活してみると、中学生の大変さに気がきました。
まずは、何といっても勉強です。小学生より五分長くなった授業は、はじめはとても長く感じました。それより驚いたのは、勉強の量です。例えば、国語では覚える漢字が増えるし、数学では「プラス」や「マイナス」といった、ややこしい記号がついた計算も出てきます。英語は小学校で習ったものも出てきますが、今度は文の決まりや楽しい単語をたくさん覚えなくてはなりません。その他にもいろいろな教科の学習内容がしべ



ルアップしています。しかも授業はほとんど先に進むので、欠席すると大変です。

次に、部活動です。私は吹奏楽部に所属し、クラリネットを担当しています。クラリネットは前からやってみたかった楽器なので、担当に決まったときはとてもうれしかったです。吹奏楽部といえば、ただ楽器を吹いたり叩いたりしているイメージでしたが、入部してみると全然違いました。簡単にそうに楽器を吹いている先輩たち。しかし、

いざ自分がやってみると、まともにも音を伸ばすことができません。頬や唇、おなかの筋力、そして肺活量が全然足りないのです。しばらく練習していると、体が痛くなってきました。楽器を吹くには、体力と筋力、肺活量が必要なので、部活動の最初にみんなで筋トレをします。筋トレというと運動部がするイメージでしたが、楽器を吹く人にも大切なことなんだと知りました。また、よりきれいな音を出すために、毎日基礎練習をしてから曲の練習に入ります。

と、これが一番大変だと感じるようになりました。部活動が終わって帰ると、疲れていて正直何もしたくありません。しかし、レベルアップした学習内容についていけるように、各教科の宿題や自主学習をがんばっています。

新しいことを始めるときは、最初は誰でも辛いと思います。しかし、少し我慢して、しばらくやってみることが大切なのではないでしょうか。「習うより慣れろ」という言葉があるように、まずやってみて、少しずつ慣れていき、それからだんだんできるようになってくるというのが一番いいと思います。だから私は、両立が習慣となってあまり辛いと感じなくなるまで頑張ってみようと思います。

中学校生活を送る中で、一つ慣れたことがあります。それは上級生を「先輩」と呼ぶことです。小学校では、上級生も「君」や「さん」をつけて呼んでいましたが、中学校では「先輩」という言葉をつけます。慣れるまで少し時間がかかりましたが、毎日意識したおかげで、今では大丈夫です。それに、「先輩」後輩の関係は、社会に出てからも大切になる「上下関係」の基礎だと思うので、今のうちに

しっかりと身に付けておきたいです。

このように、中学校で学んだ身に付けたりすることは、私の将来につながります。今勉強することは、将来私が働くときに、きっと役立ちます。また、日々の部活動で身に付く体力や忍耐力、コミュニケーション力も、大人になる上でとても大切な力です。

まだまだ慣れないことが多いですが、中学校三年間で大きく成長できるように、あきらめずに頑張ります。

HEROES

下郷中学校 2年

室井 葵



「自然がたくさんで、なんていい町なんだろう。」

初めてこの下郷町に来たのは、小学校の一年生の夏休みでした。この町についてまだ何も知らない私にとって、この町の自然はとても魅力的でした。

私は、それまで東京の練馬区に住んでいました。練馬区は、人口七十万人の大都市です。家の近くには、大きなスーパーマーケットやファストフード店、そしておしゃれな服を売ってお店がたくさんありました。そして一番大切な、病院などの施設もいたるところにあり、とても便利な町でした。

それに比べて下郷町は、人口六千人。スーパーは数件しかなく、そこまでの距離が本当に遠いです。スーパーまで車に乗らなければなりません。病院だって遠く、お年寄りの方は大変です。私の嫌いな虫だつてたくさんいるし、熊が出ると聞いて、本当にびっくりしました。

しかし、それ以上に下郷町の自然は何ものにも変えられないものを感じられたのです。私は、東京には落ち着ける場所がどこにもないように感じていました。車はいつもビュンビュン走っています。空気は汚れていて、夜、星なんて見えません。水はまずく、とてもそのまま飲めません。だから、わざわざコンビニなどで水を買って飲んでる人がたくさんいました。下郷町に来て気づいたのですが、そう、東京には山がないのです。木や田畑もほとんどありません。

せん。そして、東京都と下郷町の決定的な違い、それはご近所付き合いです。すぐ近くに住んでいる人たちが、あいさつを交わし合い、できた食べ物をおすそわけするような温かい関係がありません。

月日が経ち、もつとこの町を知りたいと思ったのは小学校三年生のときです。総合学習の時間に下郷町の伝統的な食べ物である「しんごろう」を調べたのがきっかけでした。栽培や作り方を勉強したときに、もつともつこの町の歴史を知りたいと思うようになりました。それとともに、四季折々の様々な景色を楽しむことのできる下郷町が、とてもいい町だと強く感じるようになりました。

私は中学生になり、最近、この町の役に立ちたいと思うようになりました。この町には、たくさんの観光施設があります。しかし、そのような有名な観光施設よりも、この町全体が観光施設のようにいい町なのではないかと思っています。那須連峰から見る景色は雄大で、この自然を守ることが何より大切なのではないかと思うのです。この町の自然を守るために私ができることを考えてみました。「ミ」のポイ捨てをしない。そして、

ゴミが落ちていたら拾う。小さなことかもしれませんが、こつこつと積み重ねていくことで、やがて確実にこの町の役に立つことができるようになれたらいいなと思っています。

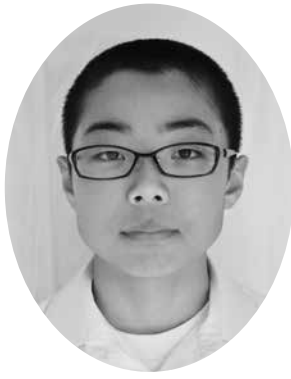
周りの人からは「こんな田舎より、前に住んでいた所の方が住みやすかったんじゃないの」とよく言われます。以前は「そう言われればそうだなあ」と思うこともありました。でも、今

少年の主張 優良賞受賞 福島県大会

人とつて

下郷中学校 2年

渡部 裕太郎



人間にも素材があります。水35リットル、炭素20キログラム、アンモニア4リットル、石灰1.5キログラム、リン800グラム、塩分250グラム、硝石100グラム、イオウ80グラム、フッ素75グラム、

は「前にすんでいたところよりも、ずつとこの町が好きです。」と胸を張っている自信がありません。きつと、この町が魅力的に見えるから好きなのではなく、この町が好きだから魅力的に見えるのだと思います。それだけ、私は、この町が大好きになりました。この町についての知識はまだまだ未熟ですが将来、下郷町の良さを他の人たちへ伝えていけるようにしたいです。

鉄5グラム、ケイ素3グラム、その他少量の15の元素、これが大人一人分の人体の構成成分だそうです。これらは、因みに市場に行けば、子どものお小遣いでも買える、とある本で読みました。つまり、これらを準備すれば、人体の形を作ることができるといふことです。しかし、

それでは何かが足りないと思いませんか。僕は「体格を形成する骨」「その人の家系が分かる血」などを思い浮かべました。皆さんは何を思い浮かべましたか。これから、その足りない何かについて、自分なりに考えたことを述べたいと思います。

ある授業で、「自分や友達の長所や短所を見つけよう」と言

われた時がありました。自分の短所はすぐに思い浮かぶのですが、長所と言われると、なかなか思い浮かびませんでした。また、友達の短所はあまり思い浮かびませんでした。自分の長所をたくさん挙げたりすると、自己中心的な人と思われるのかと思ってしまうんです。また、友達の短所をたくさん挙げたりすると、その人との関係がうまくいかなくなるのではないかと不安になってしまいます。誤解されたり、誤解したり、ちょっとしたことで人間関係が変わってしまうところに、人とつき合う難しさを感じました。

ここで「そんな複雑な人間関係ならば築かなければいい」と思う人もいるでしょう。しかし、人間というのはつながりがある、初めて人として存在するようになって、初めて人として存在するようになって、僕たち人間は今まで、たくさんの方々の支えがあって、その人達からたくさんのお話を教えてもらって生きています。人として必要なことの一つに「他の人の存在」が挙げられると思います。そして、その「他の人の存在」というものはかけがえのないもので、これからの将来必ず必要となるでしょう。

また、心も絶対に必要なもの

の一つです。心の成長にともない、身体や技術も高まっていきます。僕は野球部に所属していますが、野球以外のどんなことでも、最後の最後、ここぞという時に力になるのが心(気持ち)です。何事も、悪いイメージを浮かべると、現実でも悪いことが起きてしまうことが多いものです。その心構えが人生を左右するといっても過言ではありません。

人間は素材だけでは、作れるというわけではありません。し

部長として

下郷中学校 3年

鈴木 訓頭



僕はバスケットボール部に所属しています。二年生のときに部長になり、今年で一年になります。部長になってからのこの一年間、いろいろなことがあり

かし、自分の心や気持ちは作り上げることは可能です。他の人とのつながりを築いていくことも可能です。他の人達とのつながりの中で、心や気持ちを築いていくことがこれからの僕たちの課題になります。他のせいにして、他の人に期待しているだけでは、人として成長できないのです。僕はこれからもっと人とのつながりを大切に、前向きな気持ちで何事にも向かって生きていきたいと思っています。

ました。

部長は部員のみんなをまとめなければなりません。ところが、部をなかなかまとめることができず、思い通りにいかないと思わずどなったりしてしまいました。こんなことでは、みんなをまとめることができないことは分かっていました。だからといって、どうしていいか分かりませんでした。「バスケットボールの技能もつまらないのに、どうして部長なんかなったしまったのだろっか。」と、考えることが多くなってしまいました。他の部の部長は、部員をきちんとまとめられているよ

うに思われ、自分のことがだんだん情けなく思えてきてしまいます。

そんなときに、相談にのってくれたのが、友達や姉でした。友達は、「一人でできないときは、協力するよ。」と言ってくれました。姉は、「こつやってみれば。」といろいろなアドバイスをしてくれました。僕は、姉に教えてもらったアドバイスを活かしながら、そして友達のを協力しながら、今もみんなをまとめようと頑張っています。

部長になったことで、いろいろ失敗したことがあります。部活に急にこなくなってしまうと部長に悪口を言ってしまい、部活にさらに来づらくしてしまっただけもありました。部活中、シュートが入らないからといって、強く言ってしまったこともありましたが、そんなとき、先生に呼ばれ指導されました。最後に言われるのが「お前は部長なんだから。」と言う言葉です。僕は、「部長ってなんだろう。」と、よく考えるようになりしました。部長とは、強い人、プレーが誰よりもうまい人、そのような人がやったほうがいいと思っています。しかし、様々な経験をつかんでいくうちに、部長

とはみんなを明るくすることができる人ではないか、そうやってみんなをまとめていける人ではないかと思うようになってきました。「部活にこれなくなっただ人が、また楽しく部活にもどれるようにするにはどうしたらいいか。」ということも考えるようになりました。

今は自分一人では解決できないことばかりです。しかし、友達や姉に助けてもらったように、多くの経験をつんでいけば、今

努力

下郷中学校 3年

星 香純



次はもっと努力します。努力が実る。努力のかけなく失敗する。

世の中で限りなく使われている「努力」という言葉。一般的に「努力」とは、目標を達成するために一生懸命を尽くすこと

度は自分が教えてあげられる日があると思うのです。今いろいろなことに悩んでいる人は多くいると思います。悩みがあるなら、いろいろな人に相談してみませんか。僕のようにいろいろ失敗していいのです。失敗をくり返しながら、学んだことがきつと確かなものだと思うのです。

部活は、六月の団体連で最後です。しかし、部長として悩んだこの経験は、これからの人生にきつと役立つと思うのです。

を言います。人はなぜ、何のために努力をするのでしょうか。

私が、なぜ努力するのかと聞かれれば、自分自身のためだからと答えます。人生は一度きり、悔いのないものにしたと考えるからです。いくら叶えたい夢や願いがあっても、自分の力が届かないせいで守れないものがあったり、諦めざるを得なくなることがあります。大切な人や物を守るためにも「自分自身の力」が必要となってくるのです。

私の周りには目標を達成するために一生懸命努力をしている人がたくさんいます。ある人は、クラスをよりよい学級にするために、時には自分を犠牲にしながらも、任された仕事を

しっかりとこなしています。また、ある人は自らの将来の目標を掲げ、その目標の実現に向けて日々努力をしています。

私自身にもずっと努力をし続けてきたことがあります。それは小学校三年生から習っている水泳です。泳ぎをマスターするために一生懸命練習をしました。今は自分の挑戦している種目の自己ベストを少しでも達成できるように努力しています。

しかし振り返ってみれば、はじめは困難の連続でした。クロールの折り返しのターンや百メートル泳ぐという、今では当たり前なことでも初めはなかなか身につけることができませんでした。だんだんと水泳に通うことが嫌になり、「どうせ自分にはできない」と諦めかけてしまっただけもありました。しかし、そんな時に家族や水泳のコーチ、たくさんの人に背中を押してもらい、やっと成功させることができました。あの時の嬉しさは、今でも忘れることができません。自分を支えてくれる人がいるからこそ、達成できたときの喜びがあるからこそ、前に進むことができるということ。水泳を通して学ぶことができた瞬間でした。

私が見聞きしただけでも「努力

力」にはとても多くの種類があり、一人一人が目指す地点も、その努力の方法も全く違います。今まで勉強をしていなかった人が毎日一頁、コツコツ勉強することも努力のひとつです。そして、そんな努力の積み重ねが自分の目標の実現をするために決して避けては通れない道なのです。「努力したものがすべて成功するとは限らない」という言葉があるように、何にもしないままただ諦めてしまうよりも、諦めずに今の自分のできることを精一杯行うことが大切だと思います。

皆さんには、努力して叶えたい目標や夢がありますか。その目標や夢を叶えるために、今努力していますか。何か一つ、目標を立てその目標を本気になつて追いかけてみませんか。ときには、なかなか上手くいかず、失敗し、苦しむこともあるでしょう。そのときが分かれています。絶対に諦めない強い心を持って前に進むこと、それこそが「努力」だと私は思います。

今、何かを努力している皆さんへ。自分が何のために努力をしているのか、その答えは今、皆さん自身の中にあります。